



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第128号 2025年7月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



じゃがいもの収穫

谷戸の地形は複雑なせいか、1年中風が吹き抜けます。木陰では、熱中症の心配はいりません。ただし昨今、密生した高木の枝が前触れもなく折れるので、要注意です。

お知らせ & 谷戸往来 1

会報

LINE 配信

会員向けに配信を開始しました。手軽に見られると好評をいただいています。

山崎の夏まつり 7/20(日)

地元の伝統的なお祭りです。当会からは毎年、御輿の屋根の上の鳳（おおとり）にくわえさせる稲の提供と、御輿の担ぎ手として参加しています。



ホタルの紙芝居貸し出し



手作りの紙芝居が人気です。大船小、山崎小、第一小、地域食堂みんなのちゃぶ台に貸し出しをしました。

五月晴れの日が少なく、連休が終わると梅雨のような日が多くなりました。6月半ばには早くも梅雨明けのような猛暑の日がありました。本来、早春～初夏は3月～6月上旬まで続くはずですが、今年は4月の1カ月で終わってしまった感じです。6月下旬の時点では、空梅雨による田植え後の水不足と、猛暑による熱中症が心配な状態です。



アマガエル

● 5月から6月の谷戸でよくなったこと心配なこと

よくなったこと

今年は湿地のオギやアシの生育がよく、長年悩まされたカナムグラやクズは少なめようです。ようやく湿地らしい景観が戻ってきました。ツルの除去方法や時期を以前と変えるなど、作業の成果が出てきたように感じます。カルガモの食害を防ぐため、ネットで保護したアカガエル類のオタマジャクシが順調に育ちました。餌(煮干しとキャベツなど野菜を煮たもの)を与えたせいか成長が早まり、6月中旬には一斉にカエルに育ちました。5月に産卵するシュ



シュレーゲルアオガエル

レーゲルアオガエルとアマガエルのオタマジャクシが、カルガモの食害で全滅しないか危惧していましたが、何とか育っています。田植え後は、稲株がオタマジャクシをカルガモから守ることにつながっているようです。



ニホンミツバチ

心配なこと

ミツバチの巣箱を設置して、在来のニホンミツバチ



モンズズメバチ

を増やそうという提案がありましたが、ミツバチが谷戸から姿を消しているようです。今年はまだ一度も見ていません。スズメバチやアシナガバチは少ないながらも見かけるのですが、ミツバチは激減しているようです。春から引き続き、シオカラトンボ類の減少が顕著です。オタマジャクシの保護でネットをかぶせた田んぼにゲンゴロウの幼虫が見られたので、カルガモの食害が田んぼ

の生きもの全体に影響しているかもしれません。野鳥にも変化が出ています。春になるとスズメ



キアシナガバチ

が、ヒナの餌を運ぶため谷戸に出入りしていたものですが、ここ数年、谷戸で姿を見なくなりました。住宅構造の変化で、スズメの巣が減っているのでしょうか。ホオジロは里山を象徴する野鳥ですが、最近姿を消



ホオジロ・オス

しました。谷戸の環境は変わらないのに不思議でなりません。

田んぼ班 

今年もうるち、もちの田植えが無事終了。7日間の苗取り、田植え参加人数は、延べ82名にのぼった。皆さんありがとう。畑の苗床に比べて、田んぼや湿地の苗代の苗の育ちがよく、来年からは苗代での育苗を拡大したい。



 6/7 田植え

畑班 

さつまいもの苗床が近年一番のできだと思ったらスズメバチが巣を作り、殺さめよう撤去に一苦勞。じゃがいもは過去最高の収穫だったが、ネズミ対策の保管に一苦勞。谷戸はいつも生きものと共存。

雑木林管理班 

田植えが終了し、土手の手入れから活動を再開しました。土手を含む谷戸の草木、雑草はこれからの暑さとともに元気いっぱいですが、そのエネルギーに圧倒されめよう、作業に取り組みます。



 6/20 梅干し作り

農芸班 

今年の梅は大ぶりで成りもよいです。黄梅の梅ジュースは、谷戸しごとの疲れを吹き飛ばします。青梅の梅干し(塩分20%)は7月に赤ジソで色付けし、8月に天日干しで熟成させていい塩梅にします。

生態系保全班 

畔で見る小さなカエルは、きっとオタマジャクシ保護ネットの成果です。試行錯誤を重ねたインセクトホテルをハチが利用してくれているのも嬉しい限り。メンバーと喜びを分かち合えるのは最高です！

植物育成班 

生きものや湿地の花が咲くためには湿地に少し手を加える必要があります。満開の花を思い描き保全します。野草のため土手の草刈りをしますが、カナムグラ除去も必須。暑さと雑草との闘いです！



 6/8 さつまいも苗植え

自然遊び班 

里山探検隊「田植え」「さつまいも苗植え」★ひさしぶりの田うえで少しぎんちょうした。(小4)★さつまいもをうえるのをたくさんできてよかった。てんとうむしが手にのってくれたのでうれしかったです。(小2)

谷戸の生きもの

タマアシトビハムシ & オオバコトビハムシ

聞いてほしいこと

草刈り後の野外生活体験広場は他の雑草をしり目にオオバコばかりが勢いを増すが、そのほとんどに食痕（虫が食べた穴）がある。来園者からは「カブトムシはどこにいるか知りませんか」や「クワガタはいますか」などとよく聞かれるが、「この穴は何が食べたのですか」と聞かれたことは一度もない。気になっていたもので、人通りの多い所を避けてそっと観察して見つけたのがタマアシトビハムシだ。大きさは3~4mm程度。谷戸全体の食痕からしたら数えきれないほど生息していると思われるがこれまで出会えたのは数匹。オオバコを食べるハムシにはその名も“オオバコトビハムシ”というハムシが知られているので、なんとか見つけれないかと観察を続けたが、“東谷”から“ししいし”裏まですべてタマアシトビハムシだった。ほぼあきらめていたとき、“疎林広場”でついにオオバコトビハムシを発見した。大きさ2mmとさらに小さい。タマアシトビハムシの発見から4年が経過していた。この間、世の中の話題は“アベノマスクの随意契約”から“備蓄米の随意契約”へと変化していた。



オオバコ(野外生活体験広場)

(たのくろまめお)



タマアシトビハムシ



オオバコトビハムシ



食痕

谷戸往来 2

鎌倉あそび基地フリースクール

Largo 5/27(火)、6/25(水)

毎月の活動は畑作業などを行います。風にふかれて木の実を食べて歩いたり、虫を捕まえたり、谷戸のゆったりした時間を楽しんでいます。

山崎小学校 苗取り 6/11(水)

山崎小学校の4年生 105人が4,000本の(もち米)苗取りをしました。その後、4,5年生合同で清水谷戸の田んぼに植えました。

かまくらレンジャース

6/15(日)

大学生を含む若手のメンバーでした。手も足も泥だらけで田の草取りを体験し、さわやかな笑顔でした。

青空自主保育谷戸保全活動

- ① ここにご会 6/15(日)
- ② やんちゃお 6/17(火)
- ③ なかよし会 6/22(日)

谷戸の湿地復元をしました。「ここに川があったの？」子どもたちの声も泥の中から草を運ぶ力になりました。すぐにトンボが産卵しにきたようです。



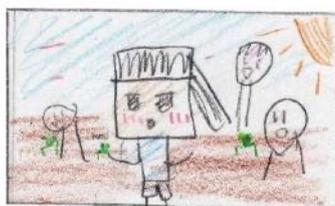
体験学習

深沢小5年 田うない 5/13

★昔から伝わってきた、田んぼは、今も大切に育てられていると感じた。田んぼの中を柔らかくするためのたうないは、これからお米を育てるための、大切な一つの役割だと思った。これからも田んぼのことをよく知りたい。

富士塚小5年 田うない 5/9

★最初怖すぎたけど、いざ入ってみるとどろどろで、すこいよごれるのもいやだったけど、もうよごれすぎた最後の方は、もういいかってなってめちゃくちゃはしゃぎました。



★こんなに苦労してお米を作っているのがとてもびっくりしました。



★草をとったり、あるいてやわらかくしたら、すこくきれいでとろとろしたどろになった。

★手でさわってみたら、つめたくてめっちゃやわらかいスライムみたいだった。

★どんどん楽しくなってきた、こんなにたのしいんだなーと思いました。また生き物をつかまえてさわりたいです。



深沢小5年 田植え 6/2

★植え方やあまり歩き回らないように気がついた。「こういう風に田植えをするんだ」と思いました。

★みんなでやると楽しいことを学んだ。

★お米は誰かががらんぼって育ててできるということを学びました。

★稲の苗を植えるときに2本一気に使うことに驚いた。あんな地道な作業をもっと多くのたんぼでやるとなると、すこく大変だろうなと思った。

★今は機械とかで田植えをしているけれど、昔のように人の手で田植えをして、田植えの大変さを知った。あんな小さな苗から、いつも食べているお米ができていたとは知らなかった。

★田植えをするときは、泥を踏みすぎずまっすぐ植えることが大切。

★今回田植えをして、ちゃんと何束でやるか、田植え物差しで測るというのが分かって楽しかった。

富士塚小5年 田植え 6/13

★(ホタルの)かみしばいはおもしろかったし、自然の大切さや虫の命の大切さを感じました。最近、道とくでやった「一ふみ十年」を思い返して、また「自然を大切に」という言葉が心にぎざまりました。



★人間だけで田植えをするのが、どれだけたいへんというのがすこく分かりました。

★あの大きいじょうぎみたいなものが、すこいやくに立ちました。きいろが足をおく所で、みずいろとか、あお、あかが植える所すこいわかりやすかったです。



教育支援教室ひだまり さつまいもの苗植え 5/28

★虫がこわかったけど、楽しかったです。いもをほった時に、土が思ったよりサラサラしてました。

★30cm間かくで、いもがたくさんできる植え方をしました。水をあげたときに大きめの虫がいることに気がつきました。よく見てみるとそれはやゴでした。きつと、井戸みたいな水をためている所にいたのをバケツですくってしまって、そのまま水やりをするときにいっしょに流されたんだと思います。しゅうかくがたのしみです。

7月

- 2日(水) 植 土手の草刈り作業
 5日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 6日(日) 田 田の草取り ♣
 雑 土手の草刈り ☆
 7日(月) 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
 11日(金) 農 梅干し作り(赤しそ仕込み) ♣
 13日(日) 田 田の草取り、畔の草刈り
 雑 雑木林の下草刈り ♣
 自 里山探検隊「田の草取り、
 かかし作り」
 16日(水) 生 初夏のカヤネズミの調査
 20日(日) 田 田の草取り ♣
 雑 草刈りして水路整備 ♣
 27日(日) 田 田の草取り ☆
 雑 アズマネザサの刈り取り ☆

8月

- 1日(金) 農 梅干し作り(天日干し)
 3日(日) 田 田の草取り、畔の草刈り
 雑 アズマネザサの刈り取り ♣
 4日(月) 畑 さつまいもの草取り・つる返し ☆
 6日(水) 植 野草畑の手入れ
 13日(水) 生 水の生物の観察 ♣
 17日(日) 田 畔の草刈り ♣
 雑 アズマネザサの刈り取り
 生 バッタの観察 ♣
 24日(日) 田 土手の草刈り、畔の草刈り
 雑 刈払い機で草刈り ♣
 畑 大根畑の耕し、長ねぎの土寄せ ♣
 田 すがい作り ☆
 雑 刈払い機で草刈り

9月

- 6日(土) 田 はさ準備(本田横)、はさ作り(小段谷戸)、
 畔の草刈り
 生 虫の音を聞く ♣
 7日(日) 田 はさ作り(本田横) ☆
 8日(月) 畑 草取り、草刈り ☆
 10日(水) 植 講座「秋の植物観察」 ♣ ☆
 12日(金) 農 麦わら細工 ♣
 14日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ♣
 17日(水) 畑 大根の種蒔き ♣
 生 秋のチョウと鳥観察
 21日(日) 田 稲刈り準備、畔・はさ周り草刈り
 28日(日) 田 稲刈り ☆
 自 里山探検隊「稲刈り」(3~6年生)
 29日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
 (農芸班、自然遊び班は、10時~)

■夜の自然パトロール、虫の音を聞く
 19:00 場所:山崎ロしいし前集合 20:30頃まで

☆ 谷戸塾
 ♣ 里山一日体験

田 田んぼ班	畑 畑班
雑 雑木林管理班	農 農芸班
自 自然遊び班	生 生態系保全班
植 植物育成班	

<お問い合わせ>

住所:
 〒247-0066
 鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:
 0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

